



世界社会奉仕 [WCS] 現物拋出 寄贈する側の成功のためのプランニング

プロジェクトの種類と 範囲を決める

まず、時間、ボランティア、物資や資金など、利用可能な資源を検討することから始めます。現物拋出プロジェクトを初めて実施するクラブは、慎重な見積もりを行うことが賢明です。次にコーディネーターを選びます。コーディネーターは活動を組織し、進捗を見守り、連絡担当窓口となる人物です。地区の世界社会奉仕委員長および地区ガバナーに計画を随時知らせてください。彼らは貴重な意見や援助を提供することができます。

計画の初期段階に国際輸送業者から輸送費の見積もりを入手し、ロータリー財団からマッチング・グラントを受領できる可能性を調べます。運送会社は輸送プロセスを順を追って教えてくれます（補遺Bを参照）。寄贈物資がすでに手元にある場合は、それが良好な状態にあること、使用説明書があること、受領者が保守管理できることを確認してください。送る物資がない場合は、資金を送ることを検討してください。資金は短時間で送ることができます。また受領者が現地の商品を廉価で購入できる場合があり、これには、地方経済を活性化させるという付加利益もあります。

プロジェクトの 協同提唱者（パートナー）を 見つける

受領者を見つけるにはいくつか方法があります。

- [ProjectLINK（プロジェクトリンク）](#)を参照する
- プロジェクト展示会に出席する
- クラブ例会のビジターに尋ねる
- 国際ロータリー大会やその他の会合で人脈を築く
- 国際ロータリーの[国際奉仕プログラム担当職員](#)に連絡する

支援団体を探る

世界各地への物資やサービスの輸送に経験のある団体や、ロータリーが後援している団体と協力することを検討してください。例えば、[グローバルハンド](#)という団体は、企業や地域団体が非政府組織の協力を得て、適切な物資を最も必要とされる地域に輸送できるよう援助する、相手探しのサービスです。このような団体は、税関、輸送、その他の実務分野で実際的な助言を提供することができます。これらの団体は、現在のプロジェクトに援助を提供するだけでなく、将来の協同活動への道を開いてくれる可能性があります。支援団体の一覧は[RIのウェブサイト](#)をご覧ください。

大量または大型の寄贈を行いたい場合は、以下の団体に次のものがないか問い合わせ、協力を求めてください

- 製造業者……余剰品や製造中止品の在庫
- 出版社……売れ残り本
- 病院、診療所、開業医……旧式だがまだ使える装置
- 学校……良好な状態の中古の教科書
- 地方や国の政府……余剰の装置、やや旧式の装置
- 市町村……救急車、消防車、その他の車両

ボランティアを募集する

ボランティアの人々は、各自の担当する具体的な作業やそれぞれに必要な時間、プロジェクト全体のスケジュールなど、自分の役割をよく理解すればするほど、熱心に奉仕活動をするものです。一般的なボランティアの役割には、寄贈の懇請、収集、物資の輸送、選別、修理、目録作成、文書の翻訳などがあります。荷の積み下ろしなどの力仕事には、ローターアクト、インターアクト、ロータリー地域社会共同隊のメンバーや地元の学校、スポーツチームなどの協力を得てください。プロジェクトに十分な人数の知識のあるボランティアが確保できるよう、ボランティア・コーディネーターを任命してください。

プロジェクトを広報する

広報により、寄付者、ボランティア、さらには新しいロータリー・クラブ会員の目を引きつけることができます。地元メディアや業界誌、クラブのニューズレターや地区の月信などで、情報を広めてください。ニュースリリースでは、プロジェクトの詳細や寄付者への呼びかけだけでなく、いかにプロジェクトが受益者のためになり、世界理解とロータリーの理念の推進に役立つかを強調する必要があります。詳しい指針については、クラブと地区の広報委員長にお問い合わせください。

物資を収集・選別する

基準を明確に設定し、受領者のニーズに沿う物資だけを収集します。受領者が使えないものや使わないものを送るのは賢明ではありません。状態の良いものや受領国の環境や文化に不適切と思われるものは、修理または廃棄してください。収集する物資の種類や量は、保管場所の大きさや輸送費、通関手続きなどを基に決定します。収集した物資は、受領者の役に立つように選別してください。例えば、スタイルやサイズごとに衣料品を束ねる、主題別に本をまとめるなどしてください。歯科器具を複数の診療所に送る場合は、各診療所の受け取るものを別々に包装してください。

保管設備を探す

クラブの会員の中には寄贈物資の保管に使える保管設備（ガレージ、学校や病院の収納室、企業の倉庫など）を知っている人物がおそらくいるでしょう。設備に十分な警備があり、温度や湿度などの保管環境がその物資に適していることを確認してください。また、保管設備の収集・選別・包装の場所や船積み地への近さも考慮に入れてください。

輸送を手配する

多くの輸送手段（国際宅配便、航空貨物、海上貨物、外交文書用郵袋、軍用輸送、預かり荷物）がある中で、コスト効果の高い輸送手段を選ぶことは、最も難しい課題の1つです。人道的物資の輸送に割引料を設けている企業があるほか、大規模な国際貿易会社は、スペースがあれば寄付として無料で物資を輸送してくれる場合もあります。見積もりを取り寄せる際は、正確な見積額と見積の日付、およびそれを提供した担当者の氏名を控えてください。詳しくは補遺Aを参照してください。

輸送と書類作成の細かな部分をすべて手配する国際運送会社と、ニーズについて話し合うことを検討してください（補遺Bを参照）。輸出部門のある企業に輸送と書類作成を無料あるいは割引料金で引き受けてもらうなど、工夫を凝らした経済的な手段も探求してください。

物資を梱包し、 目録を作成する

輸送手段により使用するコンテナが変わります。頑丈なダンボール箱、ドラム缶、木枠、6mあるいは12mの金属製コンテナのいずれを使うか、運送会社が助言してくれるでしょう。梱包する際、運送中の水による損傷、破損、盗難などから物資を守るように包装してください。箱はパレットに載せてシュリンクラップをかけ、必要に応じて防水シートで覆ってください。

受領国で積荷が拘束されないよう、梱包をする際に正確で具体的な目録を作成してください。コンテナを外国に輸送する際は、コンテナが非課税で入国する許可を得られるよう、受領者に内容物の完全な一覧を提供しなければなりません。目録作成は、各コンテナにどれだけの物資が入るかを判断する上でも役立ちます。例えば、米国では12.2mのコンテナには、高さ約2mの貨物を積んだ1m四方のパレットを20枚入れることができます。大きい物資ほど、一台のコンテナに入るパレットの数は減ります。貴国の標準的なコンテナのサイズを必ず調べてください。通関手続のためと各協力クラブの記録のために各コンテナの内容物明細書のコピーを作成してください。米国用の目録作成方法と書類見本については[ロータリー第6110地区医療材料ネットワーク・インクのウェブサイト](#)（英語）をご覧ください。

書類を準備する

必要とされる書類は、国により異なります。新しい国に貨物を送るたびに、受領国の領事館に連絡を取って援助を要請してください。ほとんどの国は、記入漏れのない商業送り状と梱包明細書を義務付けています。第三者による価格見積が必要な場合は、製造業者、専門の鑑定人、非政府組織などがそれを提供することができます。関税は申告価格を基に課せられるため、物資の価格を誇張して記入しないようにしてください。運送会社は船荷証券、航空貨物受取書、輸出承認書、申告、原産地証明書などの書類を作成するほか、高価な物資については保険の購入も援助してくれます。

受領国側の提唱クラブが関税貨物取扱人を指定していない場合は、運送会社が関税貨物取扱人を紹介してくれる場合もあります。関税貨物取扱人は、受領国での輸入税の査定、書類の作成、税関職員との連絡などを援助します。

寄贈品の準備と船積み

すべてのコンテナの少なくとも3面（上部以外）にラベルを貼付します。濃い色の油性のマジックなどで英語と受領国の言語で、5センチほどの大きな字ではっきりラベルに表記します。ラベルを保護する目的で、透明なテープを上貼するか、シュリンクラップをかけてください。

内容物や受領者の氏名を明らかにしない「ブラインドマーク」を使ってラベルを作成してください。受領者の頭文字、供給者および運送者の名称、住所、連絡先、輸入港の完全な名称をラベルに記載します。供給者の住所は小さな字で記載し、「送付先」の住所と混同されないようにします。コンテナに番号を振り（例：1/5）、物資の原産国名（例：made in Canada=カナダ製）を表記します。

運送業者と密接に連絡をとり、受領国側の提唱者が輸送の進み具合を十分把握できるようにしてください。受領者に発送した荷物の数とそれらがどのように包装されマークされているかを知らせ、輸入港でこれらが簡単に見分けられるようにします。

評価し、祝い、分け合う

プロジェクトの完了後、プロセスがどのようにうまく進んだかを評価してください。達成した事項、今後改良すべき点、新しい現物抛出コーディネーターに伝えたいことなどについて詳しくメモをとってください。このようなメモを[国際ロータリーの世界社会奉仕コーディネーター](#)までお送りください。実施国側の提唱クラブにその後の状況を報告するよう依頼してください（事後報告についての資料を参照。ウェブサイトからもダウンロード可）。援助してくれた人々全員に忘れず感謝を述べてください。ボランティアと寄付者に、彼等の貢献がいかに受領者に役立ったかを知らせてください。プロジェクトの成功を広報することで、ロータリーについての社会の認識を高め、地域の人々の間で今後のプロジェクトを支援する意欲を高めることができます。

輸送についての援助

いくらか計画を立て、創意を凝らすことによって、クラブは無料あるいは割安の輸送手段を見つけることができます。例えば、プロジェクトが一定の基準を満たす場合には、[ロータリー財団マッチング・グラント・プログラム](#)から輸送補助金を受領できる可能性があります。財団は実施中のプロジェクトには補助金を提供しないため、補助金を受領するには、発送予定日の15週間以上前に申請してください。また、ロータリー財団から他の援助を受けられるかもしれません。詳しくはwww.rotary.org/jaをご覧ください。

さらに人脈を利用してクラブが最も有利な条件で取引できる場合があります。輸送、運送、流通などの分野で人脈のあるクラブ会員がいないか探してください。以下のリストは協力者探しを行う上で有効です。割引料金について運送業者に問い合わせる場合は、プロジェクトの人道的性質を説明するとともに、業者のために国内外でどのような広報効果を挙げられるかを説明する準備をしてください。

輸送専門業者

- 速達便業者、宅配便業者
- 政府の郵便サービス（書籍や印刷物について特別料金を設けている場合がある）
- 軍用運送業者
- 貨物混載業者
- 従来の運送業者（航空機、鉄道、トラック、船舶）

企業

- 輸出入貿易会社
- 国際的なつながりのある地元企業
- 輸送業に大きく依存する地元企業
- 地域にオフィスのある多国籍企業

非営利団体

- 国際機関
- 世界的な使命を掲げる、あるいは国際機関の支部である地元慈善団体
- 宗教団体
- 商工会議所、法人組織

政府

- 地方、州、国家政府の、特に保健、社会福祉、教育、国際通商などの省庁とその高官
- 米国国際開発庁が実施するデントン計画（民間の米国市民および米国団体に米国軍用貨物機のスペースを利用して人道的物資を必要な国に輸送するのを許可するプログラム）
- 貿易使節団あるいは貿易開発局
- 外国政府の観光局
- 大使館・領事館

大学等

- プロジェクトに関連する大学の学部（国際開発、事業開発、輸送、輸出入など）
- 学生団体・教授団体

国際運送会社

物資の輸送方法を問わず、国際運送会社の援助がプロジェクトに役立つ可能性があります。運送会社は輸送と書類作成の細かな段取りをすべて手配してくれます。個人経営の運送会社もあれば、大規模な多国籍企業もあります。運送会社は汽船会社や貨物輸送業者から委託手数料をとっているため、比較的安い船積み一回あたりの定額料金を課するのが一般的です。

運送会社は以下の作業を行うことができます。

- 荷積み、包装、書類作成に関する助言
- 最も短時間で、コスト効果の高い輸送法の判断
- 有利な海上・空輸貨物輸送料の交渉
- 見積価格の提供
- 物品の梱包
- 港湾への国内輸送の手配
- 必要な書類の用意
- 関係者全員への輸送の進捗状況の通知
- 書類を許可する領事館との連絡
- 書類提出
- 受領国の税関貨物取り扱い人の紹介
- 必要な場合、保険請求の援助

運送会社の選択にあたり、会社の信頼性とサービスの品質の指標として、次の4つの事項に注目してください。

1. 経済的な安定性と確かなビジネス実績
2. 保険加入証明書 - 過失脱漏保険契約を提示するよう依頼
3. 顧客の満足 - 信用照会先、時間通りに行われた配達の割合、破損に対する請求の割合を提供するよう依頼
4. 特定の輸送先への貨物輸送の経験